

## 校内研修“おたすけ”シリーズ③

# 求められるのは 人権感覚



島根県教育庁人権同和教育課

※この動画は、

校内研修“おたすけ”シリーズ①

「進路保障」の理念

校内研修“おたすけ”シリーズ②

「進路保障」の理念に基づく取組の手法

のあとに視聴することを  
お勧めします。

## ○この動画の流れ

- 1 はじめに
- 2 「進路保障」の取組を進めるために
- 3 人権感覚とは
- 4 求められるのは人権感覚
- 5 おわりに

# 1 はじめに

## ○ ねらい

「進路保障」の理念に基づく取組を進めるために、教職員に必要とされる人権感覚について理解する

## 2 「進路保障」の取組を進めるために

5

### ○ 「進路保障」の理念に基づく取組の手法

① 「気になる様子」に気付く

なぜ？

② 背景や要因を把握する

③ 役割を明確にし、具体的な取組を行う

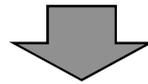
④ 取組を評価する

## 2 「進路保障」の取組を進めるために

6

### ○ 「進路保障」の取組

子どもの言動の背景に目を向け  
必要な支援の取組を行うこと



教職員の人権感覚

# 人権感覚

偏見等にとらわれず、様々なものの見方ができる力・感性のこと

### 3 人権感覚とは

## ○ 人権感覚の理解を深めるワーク

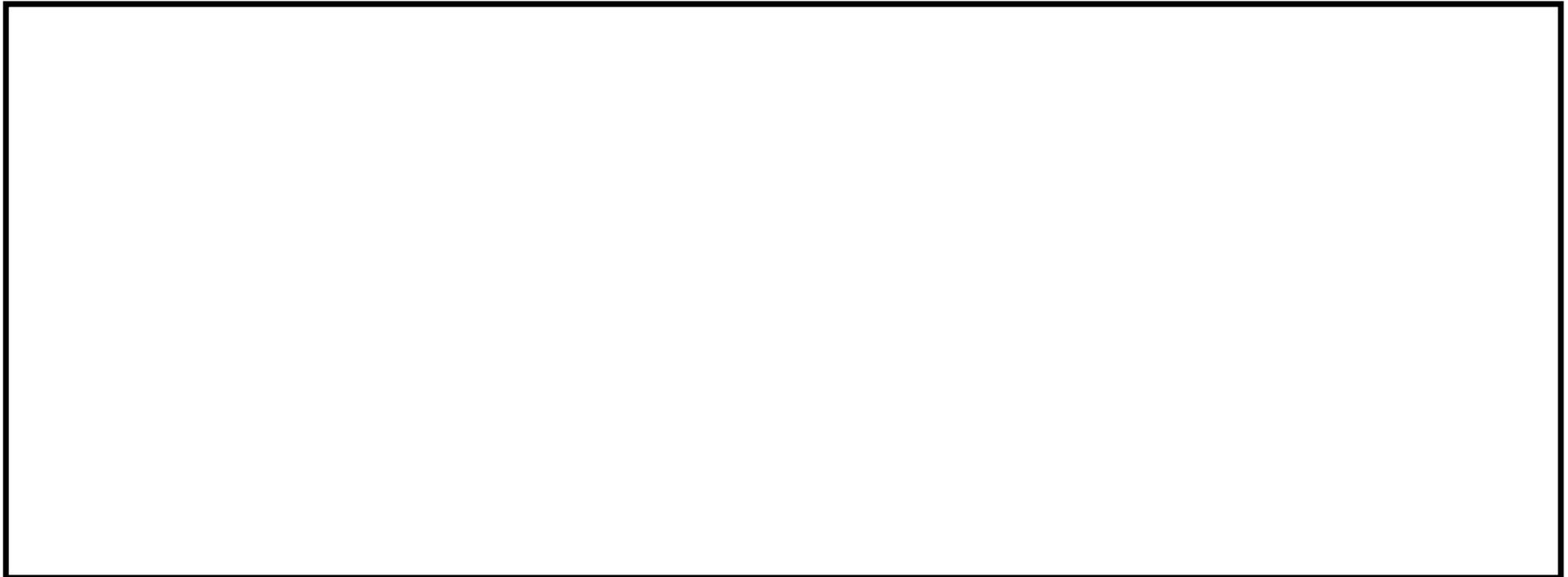
3～4名で取り組むことを  
お勧めします

### ◆ ワークの進め方

- ① 「あるもの」が何かを確認する
- ② レジューメの空欄に、30秒で書く  
※他の人と重ならないものを書く
- ③ 動画を止めて、他の人と見せ合う

### 3 人権感覚とは

- 人権感覚の理解を深めるワーク  
下の欄に「あるもの」を書いてください

A large empty rectangular box with a black border, intended for writing the answer to the question above.

### 3 人権感覚とは

10

- 物事に対し、様々な見方や受けとめができる

例えば

勉強に集中できない  
「困った子ども」

勉強に集中しづらい  
背景があり  
「困っている子ども」



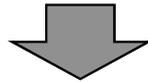
### 3 人権感覚とは

11

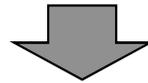
○ 1つの物事に対し、様々な考え方ができる

日頃から

物事をいろいろな見方で考えようと意識する



いろいろな見方で物事を考えることができる  
力を高める



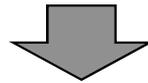
様々な見方ができる

⇒物事の「多様性」に気付く

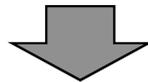
### 3 人権感覚とは

12

- 1つの物事に対し、様々な受けとめができる  
日頃から  
いろいろな見方を受けとめようと意識する



いろいろな見方を受けとめることができる力を  
高める

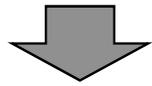


様々な見方を受けとめる  
⇒ 「寛容性」の大切さに気付く

### 3 人権感覚とは

13

- 様々な見方ができる力 と  
様々な見方を受けとめることができる力



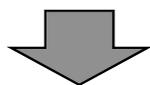
## 人権感覚

偏見等にとらわれず、様々なものの  
見方ができる力・感性のこと

## 4 求められるのは人権感覚

14

- 子どもの抱えている背景  
見ようとしなければ見えにくい



教職員の人権感覚を高める



子どもの様子を

◆いろいろな見方で考える

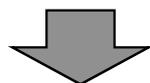
◆いろいろな見方で受けとめる

## 4 求められるのは人権感覚

15

○ 教職員の人権感覚を高めること

◆ 教職員同士の関係づくりにも活かせる  
⇒ 教職員にも「背景がある」



◆ 「多様性」と「寛容性」



◆ 誰もが過ごしやすい学校づくりにもつながる

- 教職員の人権感覚を高めること
  - ◆ 「進路保障」の取組のために必要である
  - ◆ 子どもが過ごしやすい学校づくりにつながる
  - ◆ 教職員同士の関係づくりにも活かせる
  - ◆ 誰もが過ごしやすい学校づくりにもつながる